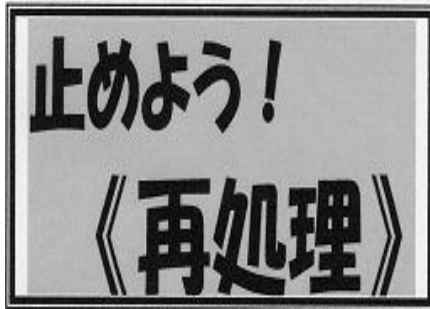


三陸の海を放射能から守る
岩手の会 (略称) **三陸の海・岩手の会**
 郵便振替 02240-5-102650
 ホームページ [再処理/岩手の環境](http://www.sanriku-sea.jp)
[/RI 廃棄物 \(coocan.jp\)](http://ri-waste.coocan.jp)
 本紙は市民カンパで発行しています。
 購読したい方は事務局に連絡下さい



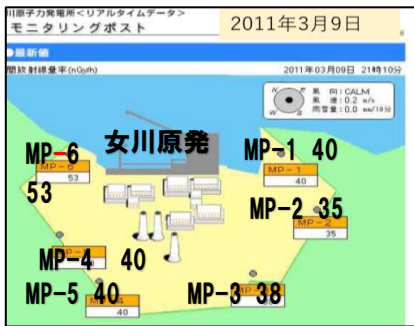
《天恵の海》

2024(令和 6年)
 10月 23日
 第260号
 編集事務局 S.Oshida
 TEL・FAX 019-623-1636

3.11大地震直後の女川原発敷地の放射線量急上昇!
電力・国「福島事故のブルームが原因」…女川原発が原因では?

東北電力社長宛に公開質問書を送付
10月5日 岩手の市民団体

2023年3月9日 (東北電力資料)
第1図 女川原発モニタリングポスト配置図と測定値



質問書の要約
緊急情報
 質問 二〇一一年三月一三日、貴社は「緊急情報」として女川原発敷地内のMPのデータに触れ、指示値が一・二日二三時頃より上昇

何故早々に福島事故のブルームと判断したのか?

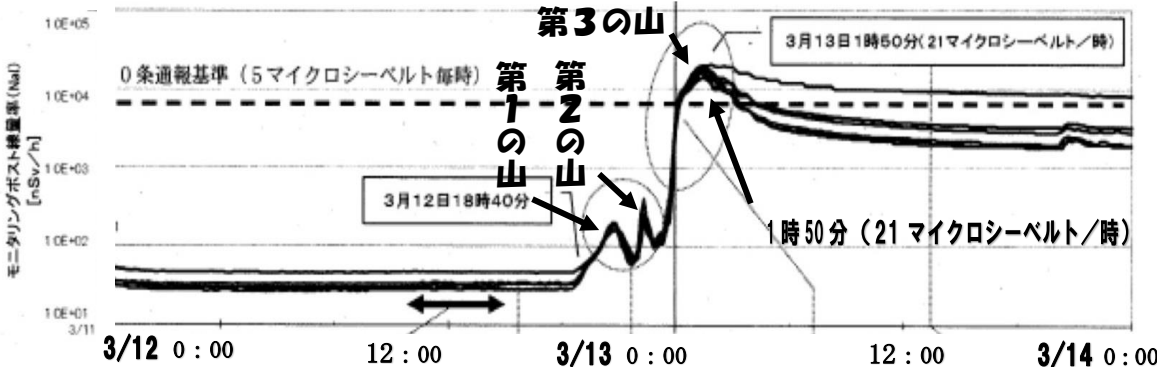
2号機再稼働を公表している女川原発は、二〇一一年三月の東日本大震災時、21マイクロシーベルト/時という高い値の放射線量を敷地内のMP (モニタリングポスト:注) で観測しました。この放射線量急上昇の原因を東北電力は福島第一原発事故から飛来した放射性ブルーム(雲)によるとしました。しかし「女川原発建屋内から多量の放射能放出があった」と無理なく説明出来る、納得のいくデータがわかり、本会をはじめ岩手の市民団体が公開質問書を送付しました。(注) MP…24時間連続で環境中の放射線を測定する施設

し始め最大21マイクロシーベルト/時となったことから、一二日に「原子力災害対策特別措置法第一〇条に該当するものと判断し関係機関に通報しました」とし、「MP数値上昇は女川原発からの放射性物質等の放出によるものではありませんが」と説明を加え公表しました。大混乱の最中になぜこのような断定をしたのか。

II 女川原発環境放射能及び温排水調査報告書(平成二十三年度第四半期)

質問 報告書にある放射線空間線量率の上昇曲線について、三つのピーク値(曲線の山)がある理由はこの曲線と福島第一原発事故での放射

第2図 女川原発敷地 MP 測定値事故直後推移グラフ



12日 10:17~14:30
 福島第一1号機ベント操作

12日 15:36
 福島第一1号機水素爆発

13日 東北電力緊急情報発表
 女川原発敷地内MP-2など上昇

能放出の出来事を照らし合わせると女川原発の第一の山は福一原発のベントによるもの、第二の山も福一の水素爆

発ものであり、第三の山は女川原発自身の建屋内から発生した放射性物質のブルームによるとすることが無理のない

詳しくは右のURL

質問書の全文は以下のURL: 当会ホームページに掲載しています。
<http://sanriku.my.coocan.jp/241005touQ.pdf>

質問書の根拠資料
<http://sanriku.my.coocan.jp/241005touF.pdf>

い説明になると思われ
ますがどうか？

理由1 第三の山はブルーム襲来前後の左右対称となる山の形（降雨なし）の線量率グラフの形になっていない。女川原発からし

ばし継続して漏れ出した放射性物質のブルームによるものではないか。

理由2 MP急上昇前の二つの山のうち、第一の山のピーク値が、福島第一

発周辺のブルーム発生からの経過時間と発生源からの距離による線量率

（実測値）の低下グラフと、瀬尾健モデル曲線に一致したこと（**第二回A表B**

グラフ参照）。

第三の山のピーク値21 μ Sv/h

結果として1200kmも離れた地における線量計のピーク値として高過ぎ

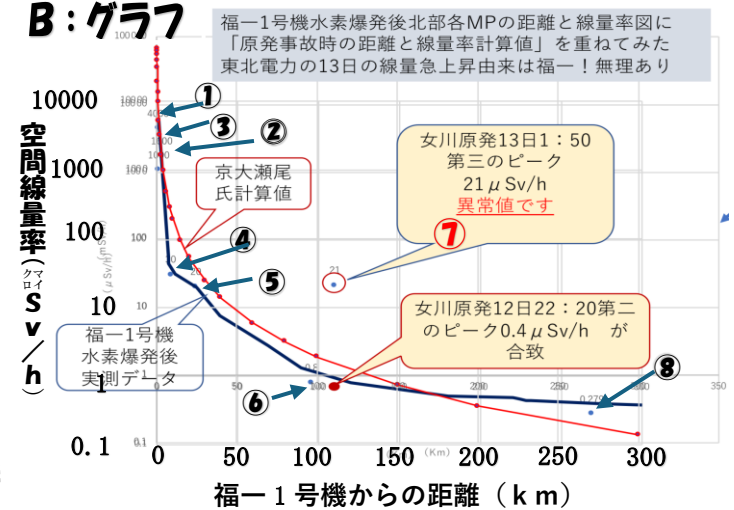
で、ありえない値である。見解はどうか。

第3図 福島原発1号機水素爆発ブルームの風下各地点の距離と実測最大線量率グラフ

A:表

測定地点	福一1号機からの距離 (km)	空間線量率測定値 (μ Sv/h)
① 福一6号機MP	0.7	4000
② 福一MP-4	1.1	1000
③ 双葉町郡山MP	3	1600
④ 浪江町幾世橋	8.5	30
⑤ 南相馬市	24.0	20
⑥ 東北大病院	95.6	0.8
⑦ 宮城県女川原発	120.0	21
⑧ 岩手県滝沢市RMC	269.0	0.279

B:グラフ



第4図 女川原発3.11直前直後の月線量比較

単位 nGy

A:表	2月 (事故直前月)			3月 (事故発生月)			月平均比較。 3月は2月の何倍 (b)/(a)
	最大	(a)平均	最小	最大	(b)平均	最小	
MP-1	49	35	33	19000	608	33	17.4
MP-2	46	30	28	21000	1567	27	52.2
MP-3	53	34	31	17000	465	31	13.7
MP-4	54	33	30	16000	475	31	14.4
MP-5	55	34	32	17000	696	30	20.5
MP-6	68	48	45	14000	468	45	9.8

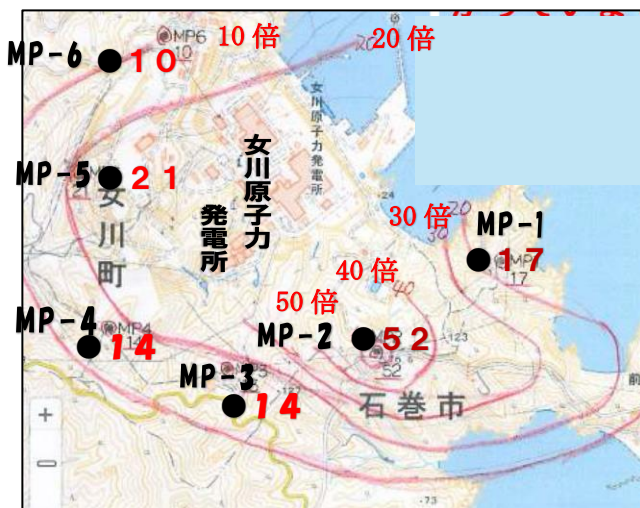
MP 全局舎の3月の線量率が高くなっているが、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故の影響によるもの。（東北電力 注）

III その他・まとめ 大地震前と後の放射線量

質1 貴社測定値で、事故のあった二〇一一年三月の一月間の放射線量の平均値を、原発事故前二月と比較し何倍（増加倍数）になるかを**第4回A表**にまとめました。二月はMP2が二月の五二倍と突出して

B:図 放射線量分布 (女川原発MP)

大震災の三月は事故前の二月の何倍か？



A:表より当会編集部作成

提出団体 岩手有機農業研究会(花巻市)

三陸の海を放射能から守る岩手の会(盛岡市)

放射能から子供を守る岩手県南・宮城県北の会(一関市)

高く、ここを中心とする増加倍数分布図は、**第4回Bマップ**のようになりました。MP-2付近の女川原発建屋から放射性物質が放出されたのでは。**質2** 二〇一三年七月十日原子力規制委員会は女川原発で国際原子力事象評価尺度INESレベル2の異常事象があったと評価しました。会議資料にレベル2の

異常事象の発生日が「二〇一一年三月二十九日」になっており「津波によりポンプモーターについて必要な機能を有していないことを確認」とあるが、発生日は三月一日ではないのですか？この日に三号タービン建屋のブローアウトパネルが外れたとあるがその被ばく影響はなかったのか？十一月五日までに一回答ください。